

岡山大学教育学部附属中学校 教育実践発表会(二次案内)



生成AIの利活用について
一緒に考えませんか？

実践発表会スケジュール

1月30日(木) 保体 美

2月13日(木) 国社数理
音技家英

時間 13:25～16:00

13:00 13:25 14:15 14:30 16:00

| | | | |
|----|-----------|----|------------|
| 受付 | 公開授業(50分) | 移動 | 研究協議会(90分) |
|----|-----------|----|------------|

会場：岡山大学教育学部附属中学校
(岡山市中区東山二丁目13番80号)

令和6年12月26日、文部科学省より「初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドライン」が発表され、資質・能力の育成を目指した具体的な活用場面が示されました。これにより、学校教育における生成AIの活用がさらに広がることが期待されています。本校の教育実践発表会では、各教科における生成AIを活用した資質・能力の育成の事例をご紹介しますとともに、研究協議会を通じて生成AIの利活用について、ともに考える場を設けたいと思います。先生方とともに、より良い授業づくりを探っていける機会となれば幸いです。お気軽に、ぜひご参加ください。

交通案内

JR岡山駅から路面電車「東山行」に乗車
終点「東山・おかでんミュージアム駅」から南に徒歩5分



参加申込

下記申し込みフォームもしくはQRコードから必要事項をご入力の上、1月28日(火)までにお申し込みください。対面のみで実施いたします。

<https://forms.gle/4xYKTqqTQgSKXjEG6>

お問い合わせ
後援

研究主任 三村脩祐 ☎ 086-272-0202 ✉ p8cy1ujx@okayama-u.ac.jp

岡山県教育委員会 岡山市教育委員会



授業一覧

令和7年1月30日(木)

| 教科 | 授業者 | 実施クラス | 場所 | 教科 | 授業者 | 実施クラス | 場所 | |
|---|-------------------------|-------|-----|--|----------------------|-------|------|--|
| 保健体育 | いわたに さとし 岩谷 諭 | 2年D組 | 体育館 | 美術 | たけだ そういちろう 武田 聡一郎 | 1年C組 | 美術教室 | |
| | 本時の学習課題・テーマ | | | | 本時の学習課題・テーマ | | | |
| | ショートテニス～他者とかかわりを深めるゲーム～ | | | | 見っ形容詞 | | | |
| 授業の概要・生成AIの利活用 | | | | 授業の概要・生成AIの利活用 | | | | |
| <p>ショートテニスを題材にゲーム中心に活動します。チームで立てた仮説を練習やゲームで、実践⇒改善・修正して、新たな知見を得るために生成AIを活用します。その過程のなかで、他者と試行錯誤しながら課題を解決していきます。豊かなスポーツライフの実践をしていくことに不可欠な他者とかかわる力を高めることを目指します。</p> | | | | <p>日常の風景や環境から形容詞を見つけます。どのような形容詞のイメージを、どのように表現したいかを考え、画用紙やケント紙を支持体として、アクリル絵の具で表現します。また、生成AIを用いて自分に足りない視点を獲得だけでなく、生成AIの性質や限界に気づき、自分にしかできないことを見つけようとしています。心豊かな生活を創造していく態度を養うことを目指します。</p> | | | | |

令和7年2月13日(木)

| | | | | | | | |
|--|------------------------------|------|------|--|---|------|-------|
| 国語 | けんもつ たいち 鈕持 太一 | 2年D組 | 2D教室 | 社会 | おおむろ まさふみ 大室 匡史 | 3年B組 | 3B教室 |
| | 「分かりやすく話す」を吟味する | | | | 領土問題を解決する難しさとは～北方領土を通して～ | | |
| <p>「話す」は音声言語行為であり、非記録性という特質をもちます。形が残らないために、何の手立てもないと自分自身の「話す」を自覚することは難しいです。そこで、本授業では、録画による自己評価、生徒同士の他者評価に加え、生成AIをメンター的に用いることを計画しました。分かりやすく話すための「話し方」や「話す内容」「資料」等について吟味していく過程で、自覚的に分かりやすく話す姿を目指します。</p> | | | | <p>本授業では、北方領土の帰属をめぐる日本とロシアの対立について、資料や生成AI・他者との対話を通じて批判的に考察することで、二国間の合意形成に向けて解決すべき課題について理解を深めます。この課題を追究する過程を通して、社会科における資質・能力を育む生成AIの利活用を提案するとともに、現代社会の諸課題について公正に判断し、よりよい社会を築いていくために解決すべき課題について考え続ける生徒の育成を目指します。</p> | | | |
| 数学 | そうだ まゆ 早田 茉侑 | 3年D組 | 3D教室 | 理科 | つばた ともゆき 坪田 智行 | 1年E組 | 第1理科室 |
| | グラフと事象を関連付けて関数の問題をつくる | | | | 津山盆地の新生代の地層から推論できる大地の変化は何か | | |
| <p>本授業では、生徒が自分で考えたグラフを基に問題を作成し、他者や生成AIとの対話を通じて評価・改善を行います。このプロセスを通じて、グラフと事象を相互に関連付け、論理的な思考力を基に創造性を育み、問題解決能力を高めることを目指します。</p> | | | | <p>本授業では、津山盆地の新生代の地層を観察し、時間的・空間的な見方・考え方を働かせながら生成AIを用いて推論することで、大地の変化とそのメカニズムに迫ります。これらの学習活動から、科学的な探究の過程を通して資質・能力を育成する生成AIの利活用を提案します。</p> | | | |
| 音楽 | さいとう えりこ 斉藤 栄里子 | 1年D組 | 音楽教室 | 技術 | ひなた ようへい 日向 洋平 | 3年E組 | 第1技術室 |
| | イメージに合う音楽づくり ～箏の音色で日本の美を奏でる～ | | | | 新しい情報の技術の優れた点や問題点の改良と応用について、利用者と開発者、専門家の立場から考え、提言にまとめよう | | |
| <p>前時に写真から自分が表現したい日本の美をイメージし、そのイメージを生成AIを活用して短い詩に言語化します。本時は、その詩と写真に合う音楽を箏で創作します。詩や写真と音楽を融合させる過程では、読み手と弾き手の生徒が協働して創作活動を行い創造性と協働性を高めます。本時の学習を通して、よりよく生きるために必要な資質・能力の育成を目指します。</p> | | | | <p>本授業では、生徒が選んだ研究開発が進められている新しい情報の技術について、他者や生成AIとの対話を通して多面的・多角的な視点から改良します。生成AIに利用者と開発者、専門家の役割を与えて対話を促すことで、新たな発想に基づいた改良や応用の仕方を考える学習活動を提案します。</p> | | | |
| 家庭科 | いながき ゆき 稲垣 由貴 | 1年B組 | 調理室 | 英語 | どい なつみ 土井 夏美 | 1年C組 | 1C教室 |
| | サスティナブルドライカレーの調理実習に向けて | | | | 未来の姿について考える | | |
| <p>本授業では、サスティナブルドライカレーの調理実習に向けて、持続可能な社会の構築の視点をもった調理計画を立てることを目指します。事前に行った家庭での実践内容と生成AIの活用を通して、新しい視点に気づき、よりサスティナブルな調理実習となるような工夫をグループで計画する学習活動を提案します。</p> | | | | <p>本授業では、生成AIからの助言を基に英文を形成・整理・再構築することを目指します。生成AIと対話し、より自然で正確な表現についてフィードバックをもらいながら、自分の意見を適切に表現する力や聞き手が理解しやすいように内容を整理する力を高める学習活動を提案します。国際人として自分の意見を自信をもって発信できる生徒の育成を目指します。</p> | | | |